



平成20年4月10日

各位

会社名 株式会社 ゴ ト ー
代表者名 代表取締役社長 後藤 行宏
(JASDAQ コード番号 9817)
(問い合わせ先)
責任者役職名 常務取締役管理本部長
氏 名 土 橋 文 彦
T E L 055 (923) 5100

特別損失の発生及び平成20年2月期業績予想の修正に関するお知らせ

平成20年2月期(平成19年3月1日～平成20年2月29日)の業績予想につきまして、平成19年12月26日付け「平成20年2月期第3四半期財務・業績の概況(非連結)」にて発表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたします。

また、特別損失につきましては、平成19年10月9日付け「特別損失の発生および平成20年2月期業績予想の修正に関するお知らせ」で96百万円と発表いたしておりますが、期末時に減損損失37百万円を追加計上することとしました結果、総額158百万となりましたことを併せてお知らせいたします。

記

1. 平成20年2月期業績予想数値の修正(平成19年3月1日～平成20年2月29日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想 (A)	15,224	99	335	19
今回修正 (B)	14,972	122	376	104
増減額 (B-A)	△ 252	23	41	85
増減率	△ 1.6%	23.2%	12.2%	447.3%
【ご参考】前期実績	15,677	391	654	11

2. 修正の理由

平成20年2月期の売上高に関しましては、前回予想(平成19年12月26日付け「平成20年2月期第3四半期財務・業績の概況(非連結)」)を1.6%下回るものとなりましたが、営業利益、経常利益および当期純利益につきましては上回る結果となりました。

売上高につきましては、カルチャー事業での販売用CD、DVDが低調に推移し、レンタル商品の品揃えを強化いたしました但し伸びに繋がりませんでした。また、ゲーム関連では前年発売されました次世代ゲーム機の売上高が前事業年度で伸びた反

動もあり当事業年度におきましては減少いたしました。リユース書籍販売は売上高を伸ばしております。結果、売上高は前回予想より 176 百万円ほど減少いたしました。

ファッション事業は、カジュアル衣料 2 店舗を含む 5 店舗を閉鎖したことにより売上高は前回予想より 75 百万円ほど減少いたしました。

従いまして、売上高は前回第 3 四半期発表時の予想を 252 百万円(前回予想比 1.6% 減) 下回りました。

営業利益に関しましては、売上高の減少に伴い粗利額が 45 百万円減少しましたが、店舗移転費用およびリニューアルオープン費用等を見直し圧縮した結果、販売費及び一般管理費が 68 百万円ほど少なくなったことにより 23 百万円(前回予想比 23.2% 増) 増額となりました。

経常利益に関しましては、前回予想を 41 百万円(前回予想比 12.2% 増) 増額となる 376 百万円となりました。主な要因といたしましては、営業利益の増加に加え営業外収益 17 百万円が見込み額より増加したことによるものであります。

当期純利益に関しましては、前回予想より 85 百万円上回る 104 百万円(前回予想比 447.3% 増) となりました。特別損失として減損損失 37 百万円を追加計上しましたが、当期純利益の主たる増加要因としましては、経常利益の増加及び過年度に税務上所得加算したものを当期費用処理したことにより税金負担が減少し、総額 69 百万円の当期純利益が増加する結果となりました。

以上の結果、通期業績につきましては、売上高 14,972 百万円(前回予想比 1.6% 減)、営業利益 122 百万円(前回予想比 23.2% 増)、経常利益 376 百万円(前回予想比 12.2% 増)、当期純利益は 104 百万円(前回予想比 447.3% 増) と業績予想数値を修正いたします。

※ 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としているため、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以 上